

民間検査機関によるPCR検査結果の誤判定について

横浜市が委託により実施する新型コロナウイルスのPCR検査において、検体採取後の民間検査機関による判定結果に誤りがあり、本来「陽性」であったにもかかわらず、患者様へ「陰性」として誤った結果をお伝えしてしまいました。

既に患者様にはお詫びと訂正の連絡をさせていただいています。

このことについてお知らせするとともに、患者様、ご家族様、並びに関係者のみなさまに深くお詫び申し上げます。

1 経緯

- 3月26日 Y-AEITが実施した集団検査（甲区の高齢者施設）にて採取した検体62名分を民間検査機関へ受け渡しました。
- 3月27日 民間検査機関から、高齢者施設を所管する保健所支所（甲区）へ検査結果62名の報告（62名中59名陰性、3名再検査）がありました。甲区から当該施設へ検査結果を伝達しました。
- 3月28日 民間検査機関から、陰性と報告のあった59名中7名の検査結果に誤りがあり、陽性であったとの報告を甲区と健康安全課で受けました。直ちに当該施設に報告し、施設側が既に感染拡大防止対策を実施していたため新たな濃厚接触者はいないことを確認しました。

2 原因・再発防止策等

原因としては、検査工程において目視確認不徹底による患者検体の取り違えがありました。当該民間検査機関では、陽性が判明した人の検体を再検査することにしており、今回その結果がすべて陰性であったことから確認したところ、最初の検査の工程で、取り違えが発生していたことが判明しました。

再発防止策としては、4月上旬までに検体のバーコード管理が出来るようにし、それまでの期間は、検体取扱者とは別の者によりダブルチェックを徹底すると報告を受けています。

民間検査機関名：株式会社 エスアールエル

本社所在地：東京都新宿区西新宿二丁目1番1号 新宿三井ビルディング10F

代表取締役社長：東 俊一

3 患者様への対応について

28日の判明後、入所している施設に直ちにご連絡し、検査の結果と誤った経緯についてご説明のうえ、謝罪を行いました。

お問合せ先		
健康福祉局健康安全課長	船山 和志	045-671-2463